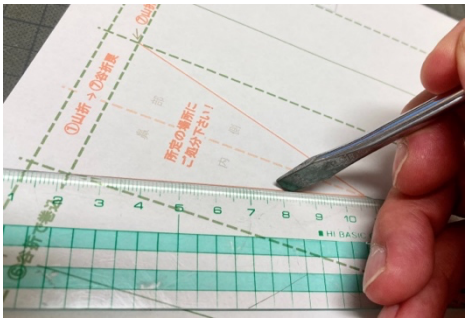
紙グラブ折り紙の要点と手順　　食品や食器を扱うように環境や作業者の衛生確保を！

プリンター印刷時のポイント

テスト印刷にて印刷位置とペーパーガイドを調整して、中心線（①**山折**）がほぼ真ん中に垂直となるようにします。

折り紙のポイント



折り紙はピシッとした折目が付くほど、しっかりと1折ずつ進めることです。

折り紙の途中で斜めに折る ⑦**山折** オレンジ線 があり、慣れない方はこの手技が上手くできないかも知れません。
1つの解決法として先に「折り易くする圧線」を入れてみて下さい。
マイナスドライバーや直線定規の適度に小さな丸い角（ボールペン先のような）を用いて強めに圧線をひきます。
ボール紙程度の下敷きが有効です。

折り紙手順　（手順は絶対ではありません。熟度に応じて適宜ご変更ください）

A4用紙は規格サイズですが、PDF印刷においてはシステム系により意図しないサイズのバラツキが発生します。
印刷線で折る場合と、概ねの位置として扱う場合がありますので気を付けて下さい。

①**山折** 用紙縦半分にします。1～2mm程度の左右差ならOKですので印刷線に合わせて折って下さい。
紙が斜めになっているようでしたら印刷を調整し直して下さい。

②**山折** 左右の2箇所を折ります。4面ができますが重ねる必要はありません。

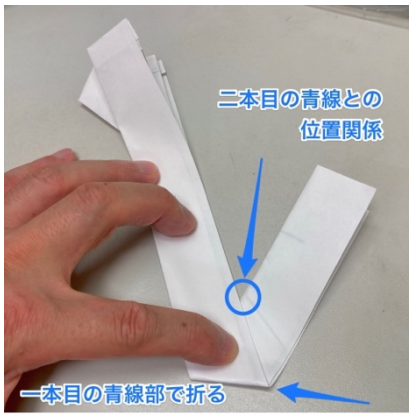
③**谷折** 左右の内側2箇所を折ります。

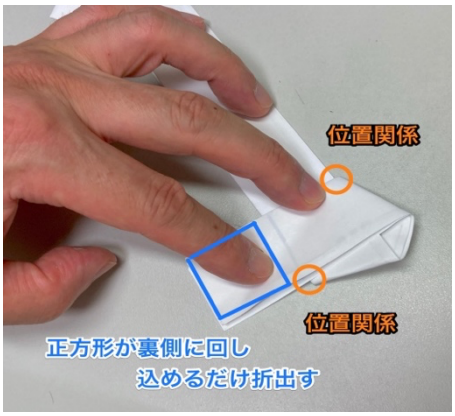
④**谷折** 左右の外側2箇所を折ります。このとき用紙サイドがやや大きいことが多いですが、印刷線に合わせて折って下さい。これで 2.7cm x 29.7cm の重なった短冊状になりますので、ピシリと折を入れます。

一度開け上辺を折ります。ここでは2度折込で巻入端としますが2度めの ⑥の印刷線を合わせ、⑤の線は用紙上辺と⑥線の中間として折り込んで下さい。もう一度短冊状にして、ピシリと折を入れ下さい。

オレンジの斜め線（⑦はもう見えない）を山折します。上端の3重部分を含みますので丁寧に折って下さい。
レギュラータイプでは中央の1箇所の オレンジ破線部を 山折→谷折 に返し、外側に突出させ鼻部逃しとします。
ハイエンドタイプではこれを3箇所行い、かつ角度が浅いので難易度はより高くなります。

上部ができれば下部の手持柄部の巻き込み折をします。
印刷面の両側1折内面の下方に各3本の青い目安線があります。位置も角度も目安ですので写真図を参考に折り巻き込んで下さい。外側片に左右差がある場合広い方を外巻側にすると紙重ねが隠れきれいに仕上がります。
巻く方向はどちらからでも構いません。





使用時には上部が 12 ～ 13cm となるように広げます。お疲れさまでした。

V1.2　2020.9　roccoro.jp/paper-globe/